

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	千葉県	市町村類型	V-2	指定団体等の指定状況				区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)
				財政健全化等	×	歳入総額	6,127,059	6,645,129	実質収支比率	6.6	5.2				
市町村名	酒々井町	地方交付税種地	2-5	財源超過	×	歳出総額	5,746,167	6,378,049	經常収支比率	88.9	88.5				
				首都	○	歳入歳出差引	380,892	267,080	(※1)	(98.1)	(98.8)				
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	108,285	53,625	標準財政規模	4,157,331	4,126,224				
				中部	×	実質収支	272,607	213,455	財政力指数	0.71	0.74				
人口	22年国調(人)	21,234	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	59,152	31,108	公債費負担比率	10.8	11.1			
	17年国調(人)	21,385	区分	22年国調	17年国調	過疎	×	積立金	119,064	237,268	健全化判断比率	-	-		
	増減率(%)	-0.7	第1次	252	342	山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-		
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	21,167	第1次	2.6	3.2	低開発	×	積立金取崩し額	15,857	-	連結実質赤字比率	-	-		
	23.03.31(人)	21,217		1.805	1.923	指数表選定	○	実質単年度収支	162,359	268,376	実質公債費比率	4.8	6.1		
	増減率(%)	-0.2	第2次	18.9	17.9			基準財政収入額	2,146,961	2,129,566	将来負担比率	-	0.2		
面積(km ²)	19.02		第3次	7,495	8,186			基準財政需要額	3,155,113	3,026,857	資金不足比率(※4)				
人口密度(人/km ²)	1,116			78.5	76.1			標準税収入額等	2,746,046	2,724,856					
世帯数(世帯)	8,571							經常経費充当一般財源等	3,709,615	3,627,349					
職員の状況															
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	4,418,517	4,469,030					
	市区町村長	1	6,400	一般職員	152	539,752	3,551	うち公的資金	3,349,457	3,186,752					
	副市区町村長	1	5,280	うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	288,589	325,433					
	教育長	1	5,040	うち技能労務職員	-	-	-	収益事業収入	-	-					
	議会議長	1	3,325	教育公務員	-	-	-	土地開発基金現在高	115,316	115,315					
	議会副議長	1	2,708	臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,030,410	820,475					
	議会議員	14	2,518	合計	152	539,752	3,551	減債基金	629	629					
				ラスパイレズ指数(※6)	107.8		(99.6)		其他特定目的基金	433,538	406,571				
	一般会計等の一覧														
	項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧	
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(5)	水道事業会計	(6)	下水道事業特別会計	(7)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)						
		(3)	介護保険特別会計					(8)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)						
		(4)	後期高齢者医療特別会計					(9)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)						
								(10)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)						
								(11)	佐倉市、酒々井町清掃組合(一般会計)						
								(12)	印旛衛生施設管理組合(一般会計)						
								(13)	佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合(一般会計)						
								(14)	印旛利根川水防事務組合(一般会計)						
								(15)	佐倉市八街市酒々井町消防組合(一般会計)						
								(16)	印旛郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)						

(注釈) ※1: 經常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラスパイレズ指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	2,537,524	41.4	2,442,915	64.6	普通税	2,442,915	96.3	-
地方譲与税	70,473	1.2	70,473	1.9	法定普通税	2,442,915	96.3	-
利子割交付金	6,449	0.1	6,449	0.2	市町村民税	1,158,436	45.7	-
配当割交付金	7,571	0.1	7,571	0.2	個人均等割	30,801	1.2	-
株式等譲渡所得割交付金	1,539	0.0	1,539	0.0	所得割	1,017,093	40.1	-
地方消費税交付金	162,291	2.6	162,291	4.3	法人均等割	43,442	1.7	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	67,100	2.6	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,108,271	43.7	-
自動車取得税交付金	20,528	0.3	20,528	0.5	うち純固定資産税	1,102,786	43.5	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	29,595	1.2	-
地方特例交付金	44,229	0.7	44,229	1.2	市町村たばこ税	146,613	5.8	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	13,232	0.2	13,232	0.3	鉱産税	-	-	-
減収補填特例交付金	30,997	0.5	30,997	0.8	特別土地保有税	-	-	-
地方交付税	1,155,614	18.9	1,005,777	26.6	法定外普通税	-	-	-
普通交付税	1,005,777	16.4	1,005,777	26.6	目的税	94,609	3.7	-
特別交付税	137,757	2.2	-	-	法定目的税	94,609	3.7	-
震災復興特別交付税	12,080	0.2	-	-	入湯税	-	-	-
(一般財源計)	4,006,218	65.4	3,761,772	99.4	事業所税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	4,145	0.1	4,145	0.1	都市計画税	94,609	3.7	-
分担金・負担金	35,167	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-
使用料	85,830	1.4	14,135	0.4	法定外目的税	-	-	-
手数料	16,613	0.3	-	-	旧法による税	-	-	-
国庫支出金	639,315	10.4	-	-	合計	2,537,524	100.0	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-				
都道府県支出金	463,975	7.6	-	-				
財産収入	4,052	0.1	2,924	0.1				
寄附金	4,185	0.1	-	-				
繰入金	50,376	0.8	-	-				
繰越金	160,352	2.6	-	-				
諸収入	189,331	3.1	68	0.0				
地方債	467,500	7.6	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	390,000	6.4	-	-				
歳入合計	6,127,059	100.0	3,783,044	100.0				

区分		平成23年度		平成22年度	
徴収率	現・計	98.0	92.1	97.9	92.3
(%)	年	97.6	90.1	97.6	90.8
		98.2	93.4	98.1	93.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	470,769	実質収支	64,530
下水道	32,041	再差引収支	55,510
上水道	22,753	加入世帯数(世帯)	3,604
工業用水道	-	被保険者数(人)	6,438
交通	-	被保険者	96
国民健康保険	121,162	1人当り	68
その他	294,813	保険税(料)収入額	242
		国庫支出金	68
		保険給付費	242

(注釈)

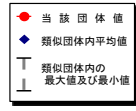
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	129,865	2.3	-	129,865	
総務費	912,245	15.9	8,404	858,323	
民生費	1,545,808	26.9	42,916	895,863	
衛生費	480,540	8.4	-	434,340	
労働費	102,069	1.8	-	-	
農林水産業費	116,309	2.0	31,414	114,119	
商工費	92,785	1.6	10,006	73,633	
土木費	666,610	11.6	459,824	285,962	
消防費	456,305	7.9	11,979	447,197	
教育費	647,497	11.3	41,923	534,381	
災害復旧費	16,904	0.3	-	9,598	
公債費	579,230	10.1	-	505,898	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	5,746,167	100.0	606,466	4,289,179	

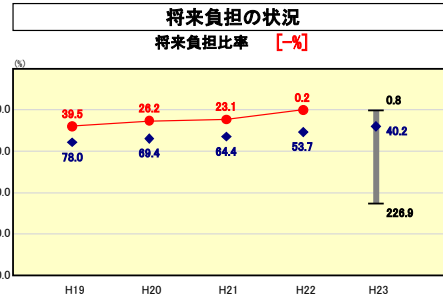
性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,735,290	47.6	2,075,760	2,065,988	49.5
人件費	1,510,582	26.3	1,406,202	1,399,619	33.5
うち職員給	951,084	16.6	852,239	-	-
扶助費	645,478	11.2	163,660	160,471	3.8
公債費	579,230	10.1	505,898	505,898	12.1
元利償還金	579,230	10.1	505,898	505,898	12.1
内 うち元金	518,013	9.0	445,967	445,967	10.7
訳 うち利子	61,217	1.1	59,931	59,931	1.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	2,387,507	41.5	1,995,784	1,643,627	39.4
物件費	977,549	17.0	682,561	583,852	14.0
維持補修費	31,773	0.6	31,253	31,253	0.7
補助費等	752,332	13.1	731,089	661,815	15.9
うち一部事務組合負担金	579,925	10.1	579,925	531,621	12.7
繰出金	448,016	7.8	380,515	366,707	8.8
積立金	158,693	2.8	157,822	-	-
投資・出資金・貸付金	19,144	0.3	12,544	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	623,370	10.8	217,635	-	-
うち人件費	61,809	1.1	61,809	-	-
普通建設事業費	606,466	10.6	208,037	-	-
うち補助	377,215	6.6	20,424	-	-
うち単独	229,251	4.0	187,613	-	-
災害復旧事業費	16,904	0.3	9,598	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	5,746,167	100.0	4,289,179	-	-

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	21,167人	(H24.3.31現在)	実質赤字比率	-%
面積	19.02km ²		連結実質赤字比率	-%
歳入総額	6,127,059千円		実質公債費比率	4.8%
歳出総額	5,746,167千円		将来負担比率	-%
実質収支	272,607千円		市町村類型	H19 V-2 H20 V-2 H21 V-2
標準財政規模	4,157,331千円		(年度毎)	H22 V-2 H23 V-2
地方債現在高	4,418,517千円			



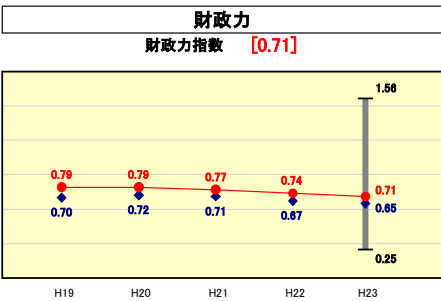
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



類似団体内順位 1/141 全国平均 69.2 千葉県平均 77.3

将来負担比率の分析欄

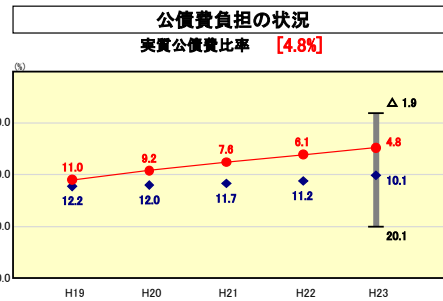
平成23年度はいわゆる分母を分子が上回ったため、マイナス表記となった。要因としては、町一般会計や関係一部事務組合の地方債残高の減少や、普通交付税の増額による標準財政規模の増、財政調整基金を中心とする充当可能基金の増額等があげられる。今後も公債費等義務的経費の削減を中心とする行財政改革を進め、財政の健全化に努める。



類似団体内順位 52/141 全国平均 0.51 千葉県平均 0.74

財政力指数の分析欄

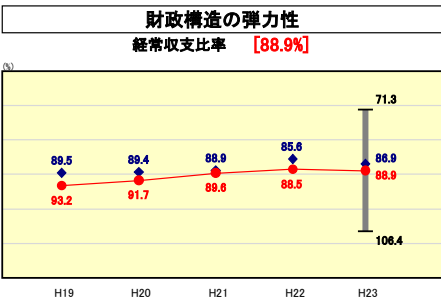
首都圏への通勤圏であることから、個人町民税などで類似団体を上回る税金があるため、0.71となっているが、長引く景気低迷による税の減収などから3年連続の低下傾向にある。今後も税の徴収強化を努めるとともに、平成24年度末にまちびらきを行った酒々井南部地区における、進出企業の固定資産税や雇用の増による個人住民税などの増収を図っていく。



類似団体内順位 13/141 全国平均 9.9 千葉県平均 9.5

実質公債費比率の分析欄

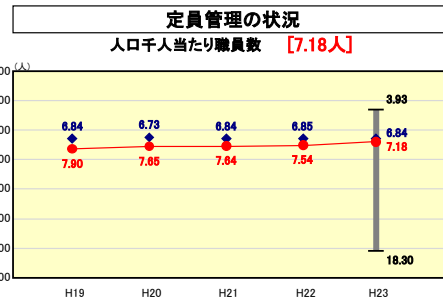
過年度の普通建設事業費に係る起債の償還が順調に進んでいることから類似団体を下回っている。しかし、平成24年度以降は経済対策による公共事業に係る起債や臨時財政対策債の影響で借入額を償還額を上回ることが見込まれることから、新規発行抑制を図っていく。



類似団体内順位 89/141 全国平均 90.3 千葉県平均 91.0

経常収支比率の分析欄

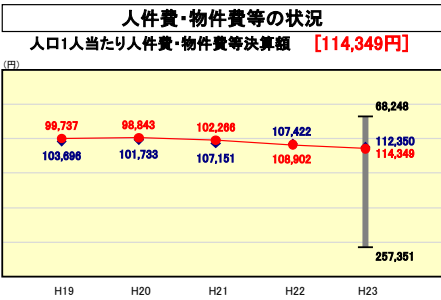
ここ数年改善してきていたが、反転して数値が悪化してきている。人件費や扶助費などが昨年度より増加したことなどが要因と思われる。今後も、財政健全化緊急対策計画等に基づき、更に事務事業の優先度を厳しく点検するなど、歳入確保と経常経費の削減に努める。



類似団体内順位 82/141 全国平均 7.17 千葉県平均 6.78

人口千人当たり職員数の分析欄

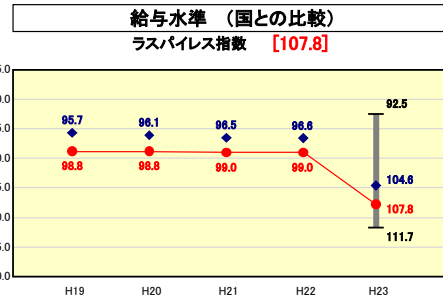
集中改革プラン(平成17年度～平成21年度)において、退職勧奨や新規採用の抑制による削減を行い、以後も同様の措置を継続していることから、改善は見られるものの、人口千人当たりの職員数を類似団体と比較すると依然として類似団体平均を上回っている状態である。今後は類似団体平均の水準程度まで職員数を削減することを目標に、定員管理の適正化に努める。



類似団体内順位 90/141 全国平均 119,477 千葉県平均 110,124

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費及び物件費全般で抑制に努めているが、昨年度に引き続き類似団体を上回っている。人件費においては職員数がほぼ変わらないが定期昇給等により若干増えたことや、職員数抑制により物件費が増加する傾向などが原因と思われる。今後しばらくはこの傾向が続くと予想されることから、引き続き、経常的な人件費及び物件費の適正化に努める。



類似団体内順位 117/141 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3

ラスパイレス指数の分析欄

過去における人口急増時の職員採用や集中改革プランに伴う職員数の削減をするために新規採用の抑制等を実施したことにより、職員年齢構成のバランスが偏り、特に中高年齢層の比率が高くなっていることが指数を高くしている要因であり、また、国の特例法による給与減額に準じた措置を講じていないことから、本年度については、指数が100を超える水準となっている。今後は、定員の適正化を進める中で、年齢構成バランスのとれた職員採用を行うとともに、国の減額措置への対応を検討し、給与水準の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

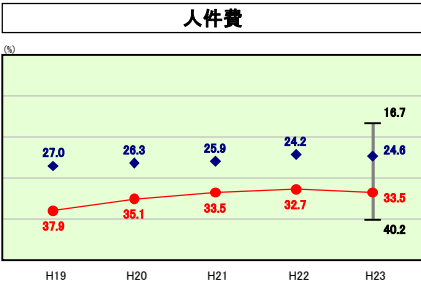
千葉県酒々井町

経常収支比率の分析

人口	21,167 人(H24.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	19.02 km ²	連結実質赤字比率	- %
歳入総額	6,127,059 千円	実質公債費比率	4.8 %
歳出総額	5,746,167 千円	将来負担比率	- %
実質収支	272,607 千円	市町村類型	H19 V-2 H20 V-2 H21 V-2
標準財政規模	4,157,331 千円	(年度毎)	H22 V-2 H23 V-2
地方債現在高	4,418,517 千円		

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

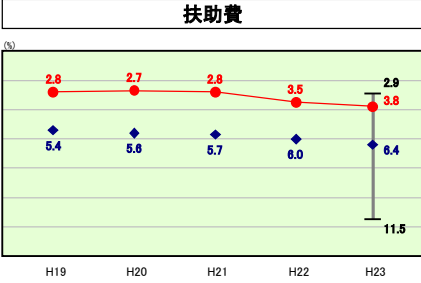
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 135/141 **全国平均** 25.4 **千葉県平均** 29.2

人件費の分析欄

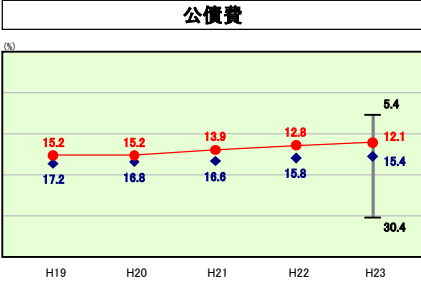
職員数が類似団体と比較して高いために、経常収支比率の人件費が高くなっているため、改善を図っていく。退職職員の不補充による職員減を引き続き行い、人件費の削減に引き続き努める。



類似団体内順位 9/141 **全国平均** 10.5 **千葉県平均** 10.0

扶助費の分析欄

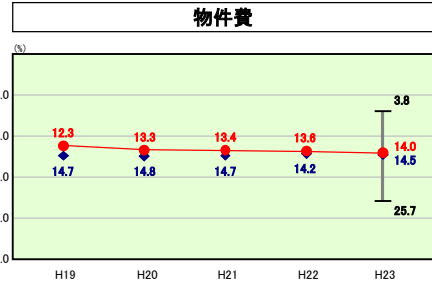
現在は類似団体を大きく下回る数値となっているが、町の高齢化率は平成23年度末で23.7%と1.2%上昇となっている。町の特性として昭和40年代以降の宅地開発によって転入した世代が65歳を迎え始め、今後、高齢化率が一気に上昇することが見込まれる。また、こども医療費の町単独上乘せなどの施策も今後増加が見込まれることから、全体的に増加傾向にあると思われるため、適正な執行に努め、大幅な増加を抑制するように努めていく。



類似団体内順位 34/141 **全国平均** 19.0 **千葉県平均** 16.2

公債費の分析欄

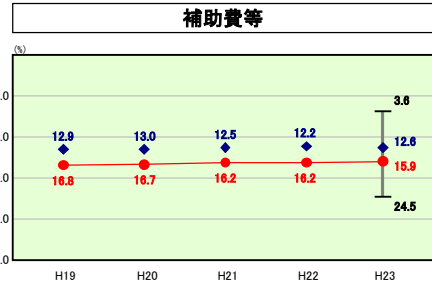
類似団体平均を下回り、平成19年度と比較し3.1ポイント改善されている。しかし、臨時財政対策債の償還が今後増えること、あるいは、土木債や教育債などの新規発行が見込まれるため、他事業における地方債の発行を抑制するなどして、大きく上昇することのないよう引き続き適正化を図っていく。



類似団体内順位 73/141 **全国平均** 13.1 **千葉県平均** 16.5

物件費の分析欄

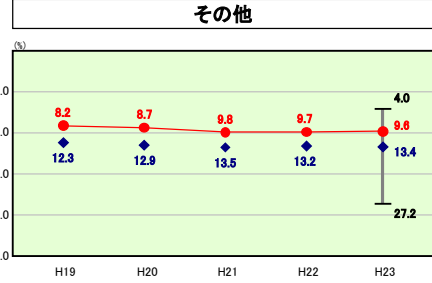
財政健全化緊急計画などに基づき、施設管理を含めた業務委託の廃止、委託内容等の見直しなど、内部管理経費の徹底した削減により類似団体を下回っている。しかし、業務の民間委託化へのシフト傾向もあり、数値が増加傾向にあることから、今後も常に見直しを行い経費の削減に努めていく。



類似団体内順位 109/141 **全国平均** 10.1 **千葉県平均** 8.0

補助費等の分析欄

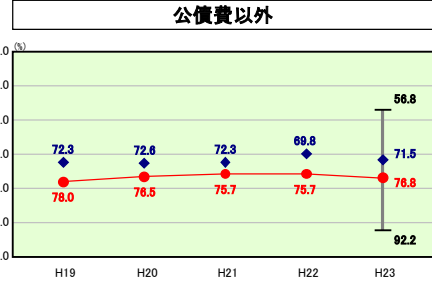
類似団体平均を上回っているのは、消防・清掃・衛生業務などが一部事務組合で行っており、一部事務組合への負担金が多額のためである。毎年、予算編成前に当町を含む構成団体から各組合へ組合事業における経常経費の見直しなどを依頼しており、こうした積み重ねにより負担金の減少につなげ、町財政を圧迫することがないように図っていく。



類似団体内順位 14/141 **全国平均** 12.2 **千葉県平均** 11.1

その他の分析欄

その他で類似団体を下回っているのは、繰出金が少ないことが主要因である。公営企業会計へは下水道事業のみとなっており、また、国民健康保険などについても基準内繰出のみとなっていることなども要因と思われる。ただし、国民健康保険や介護保険など繰出が増加傾向であることから、今後とも財政を圧迫することのないよう努めていく。



類似団体内順位 113/141 **全国平均** 71.3 **千葉県平均** 74.8

公債費以外の分析欄

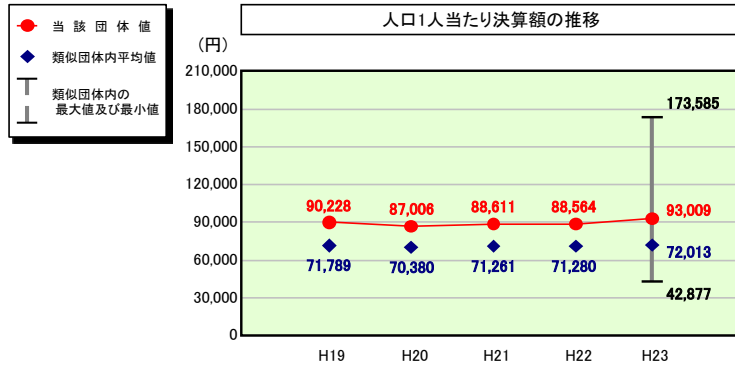
公債費以外で類似団体を上回っている項目は人件費と補助費等が大きい。要因は分かっていることから、引き続き削減できるところは削減するように、庁内で他課と連携しながら削減に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

千葉県沓井町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



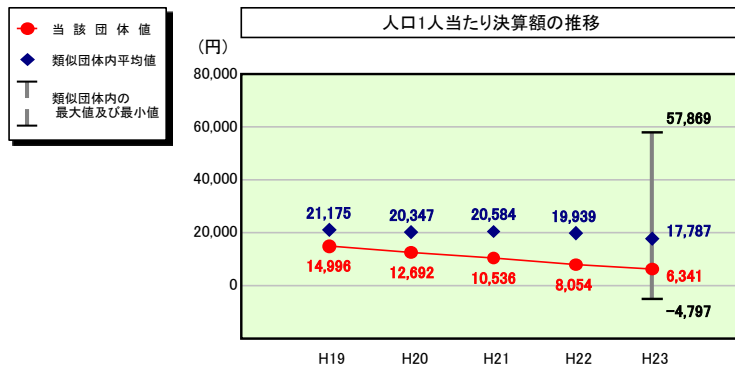
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,510,582	71,365	61,044	16.9
賃金 (物件費)	103,702	4,899	5,187	▲ 5.6
一部事務組合負担金 (補助費等)	388,183	18,339	7,864	133.2
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	171	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	65,746	3,106	3,054	1.7
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	61,809	2,920	1,187	146.0
▲退職金	▲ 161,298	▲ 7,620	▲ 6,500	17.2
合計	1,968,724	93,009	72,013	29.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	7.18	6.84	0.34
ラスパイレース指数	107.8	104.6	3.2

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

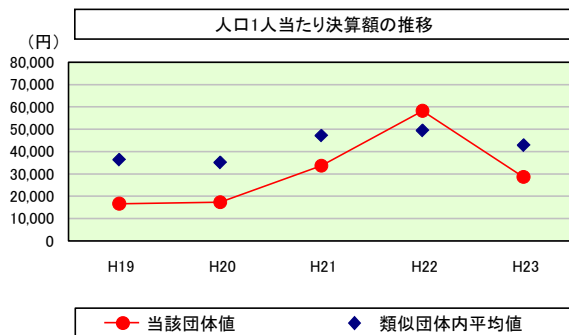


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	579,230	27,365	35,442	▲ 22.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	7	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	22,968	1,085	10,472	▲ 89.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	59,305	2,802	3,331	▲ 15.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	30,538	1,443	1,294	11.5
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 121,469	▲ 5,739	▲ 3,340	71.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 436,347	▲ 20,614	▲ 29,424	▲ 29.9
合計	134,225	6,341	17,787	▲ 64.4

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

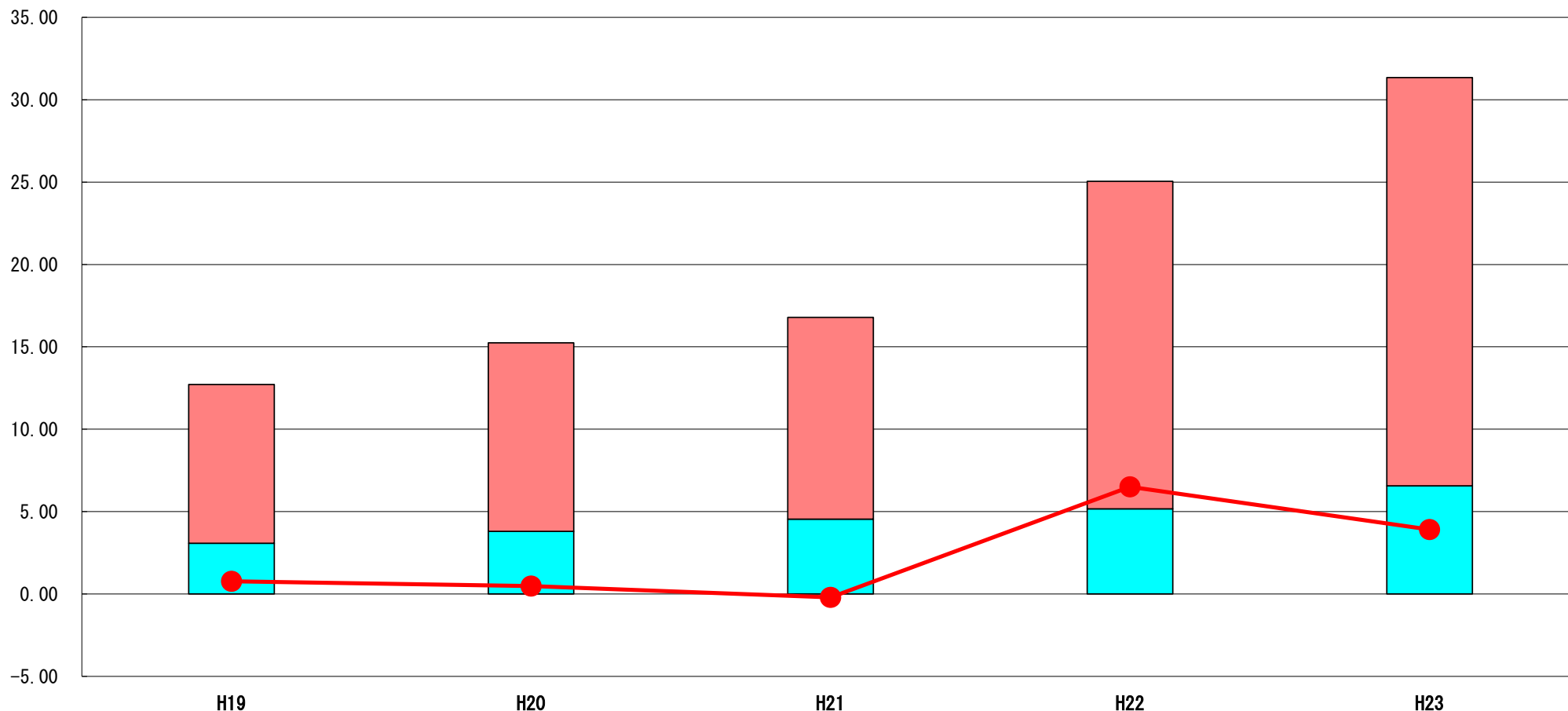
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H19	358,421	16,661	14.1	36,358	▲ 12.9	27.0
うち単独分	161,214	7,494	▲ 20.2	21,039	▲ 18.6	▲ 1.6
H20	371,372	17,316	3.9	35,141	▲ 3.3	7.2
うち単独分	259,264	12,089	61.3	20,483	▲ 2.6	63.9
H21	718,488	33,686	94.5	47,258	34.5	60.0
うち単独分	276,065	12,943	7.1	27,842	35.9	▲ 28.8
H22	1,237,024	58,303	73.1	49,426	4.6	68.5
うち単独分	596,130	28,097	117.1	26,568	▲ 4.6	121.7
H23	606,466	28,651	▲ 50.9	42,839	▲ 13.3	▲ 37.6
うち単独分	229,251	10,831	▲ 61.5	22,027	▲ 17.1	▲ 44.4
過去5年間平均	658,354	30,923	26.9	42,204	1.9	25.0
うち単独分	304,385	14,291	20.8	23,592	▲ 1.4	22.2

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成23年度

千葉県酒々井町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		9.64	11.45	12.25	19.88	24.79
 実質収支額		3.08	3.80	4.54	5.17	6.56
 実質単年度収支		0.77	0.48	▲ 0.20	6.50	3.91

分析欄

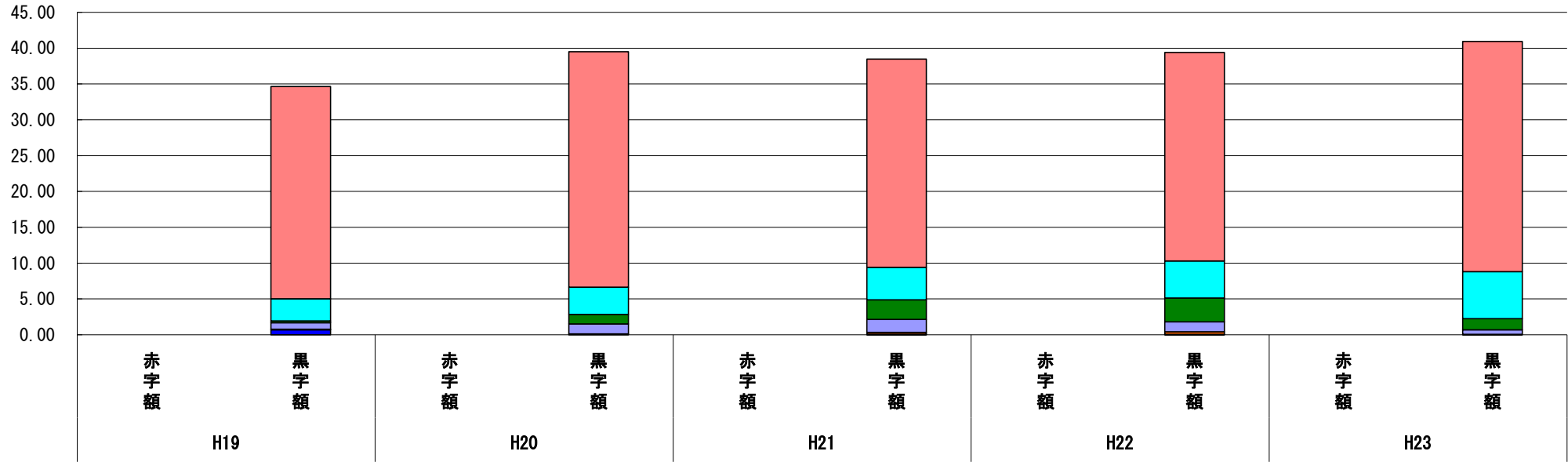
毎年、予算編成方針として財政調整基金の残高が標準財政規模の20%と設定して予算編成を行っており、この方針成果が出ていると考える。また、税徴収の強化が歳入増を生み出しており、実質収支額の増加となっている。引き続き財政の健全化を図るべく努力していく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

千葉県酒々井町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
水道事業会計		29.63	32.86	29.03	29.09	32.12
一般会計		3.08	3.80	4.54	5.17	6.56
国民健康保険特別会計		0.25	1.34	2.73	3.33	1.55
介護保険特別会計		0.91	1.38	1.81	1.39	0.63
下水道事業特別会計		0.08	0.07	0.27	0.35	0.05
後期高齢者医療特別会計		-	0.06	0.03	0.02	0.02
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.70	0.00	0.05	0.05	-

分析欄

水道事業会計は毎年黒字となっており、後年度の支出に備えて内部留保を続け、また、一般会計からの繰入もなく経営した結果、町全体の連結実質赤字比率の対標準財政規模比で大きなウェイトを占めることとなっている。
他会計も含めて支出の抑制に努め、財政の健全化を図っていく。

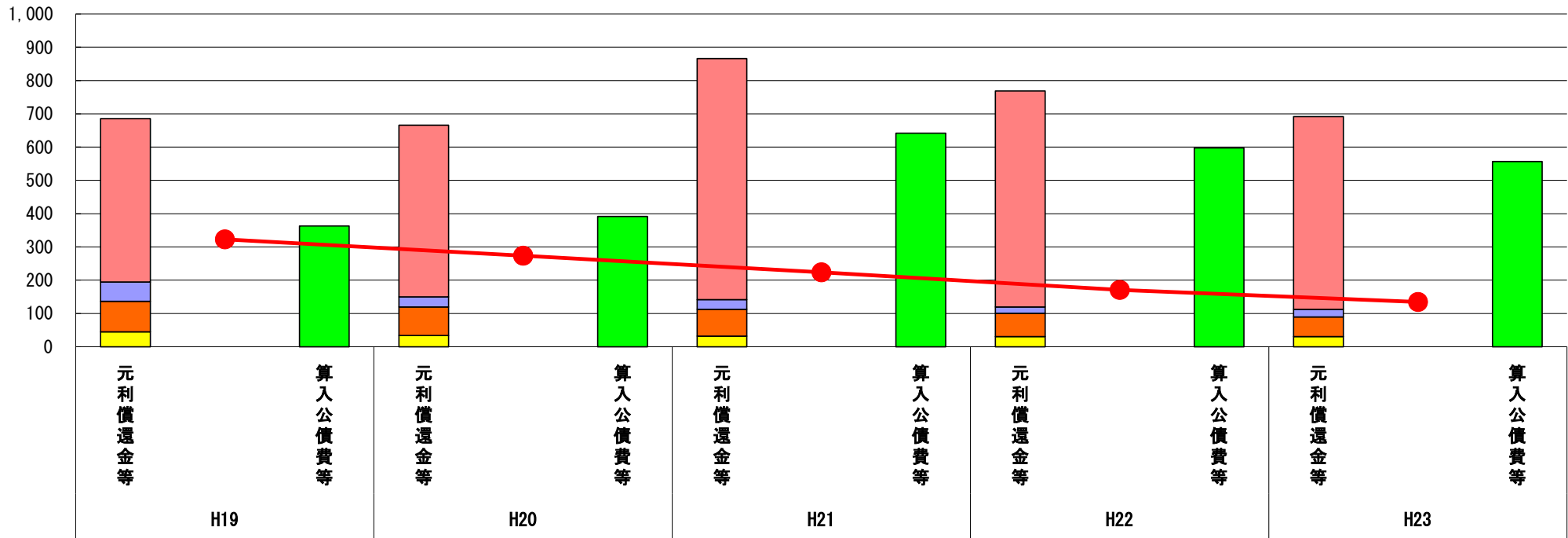
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

千葉県酒々井町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		491	516	724	649	579
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		58	30	29	19	23
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		92	86	81	70	59
	債務負担行為に基づく支出額		45	34	32	31	31
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		363	392	642	598	557
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		323	274	224	171	135

分析欄

元利償還金や組合等負担額見込額などが軒並み下がっていることから、分子自体が大きく下がっている。今後とも建設的な地方債の抑制に努めて数値が維持できるように努力していく。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

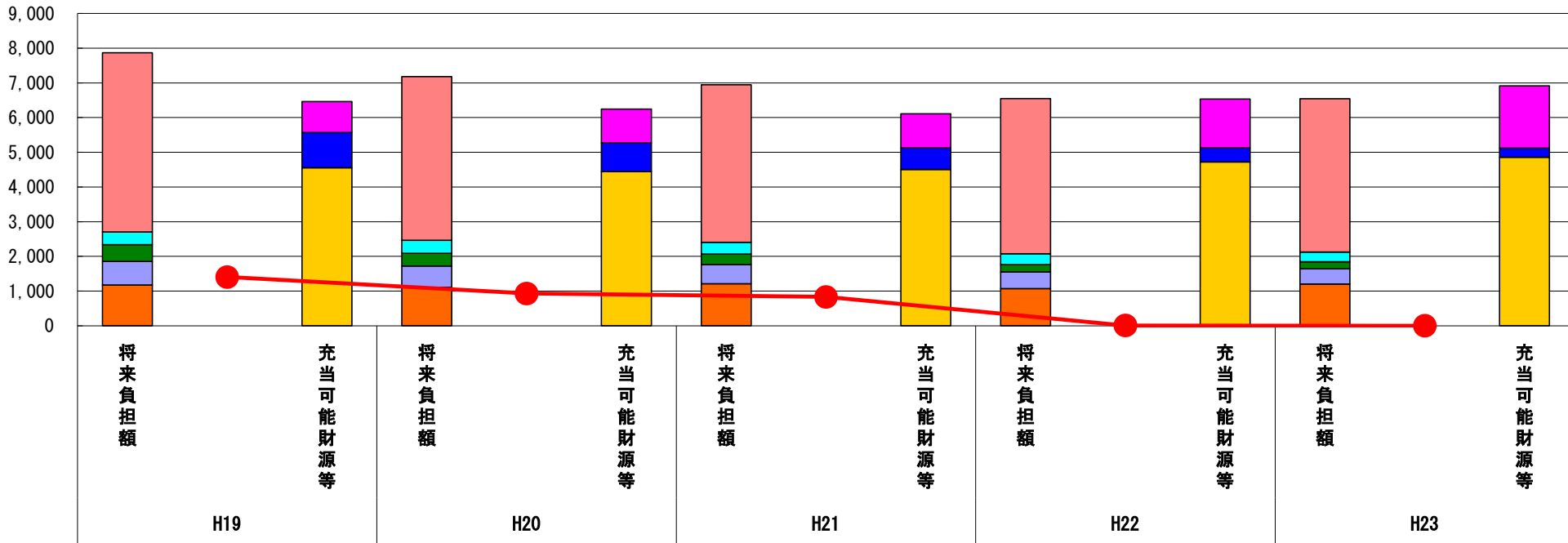
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

千葉県酒々井町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		5,160	4,715	4,537	4,469	4,419
	債務負担行為に基づく支出予定額		367	376	342	312	281
	公営企業債等繰入見込額		480	367	302	212	203
	組合等負担等見込額		682	615	552	481	440
	退職手当負担見込額		1,176	1,106	1,211	1,071	1,201
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		888	978	989	1,413	1,796
	充当可能特定歳入		1,021	822	616	402	263
	基準財政需要額算入見込額		4,551	4,446	4,505	4,719	4,854
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,405	932	834	10	▲ 369

分析欄

一般会計等の起債現在高や組合等負担額見込額、公営企業債等繰入見込額などが軒並み下がっていることから、分子自体が大きく下がり、比率自体がマイナス表記となった。今後とも建設的な地方債の抑制に努めて数値が維持できるように努力していく。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。